

ボランティア講座



10月31日(木) 打瀬公民館の地域連携講座「ともに楽しく街を創ろう！ボランティア活動」と題した講演会が開かれました。この講座にはこの種のイベントには珍しく 60 人もの人が集まり、ベイタウンのボランティア意識の高さに驚かされました。ボランティア講座というお堅い話かと思いがちですが、今回の講演は大違い。「目からウロコがポロポロ落ちましたー！」ボランティアのイメージが一変した講座です。【小原】

今回の講師、早瀬昇さんは大学時代からずっとボランティア活動をしてきたまさにボランティアの達人(?)です。その早瀬さんによると「ボランティア活動をしている人は長生きできる」と。静岡県での調査によると、運動と栄養の管理にプラス社会参加がある高齢者の死亡率は、運動も栄養管理も社会参加もしていない高齢者の死亡率の半分だったのだそうです。私たちは長生きのために運動や健康管理に気を配りますが、まさかボランティアが長生きの秘訣だったとは。

さらに早瀬さんによると「ボランティアは恋愛に似ている」のだそうです。ボランティアって社会事業活動？なんだか面倒くさくて縛られそう。多くの人はこんな堅いイメージかもしれませんが、早瀬さんには恋とボランティアはこんな理由で同じに見えるようです。①自発的な無償の行為、②対象を選べる、③好きであることが選択の重要な基準、④“機能”以上に“存在”に意味がある、⑤出会いは偶然による、⑥しんどいこともあるが自分自身も元気になる、⑦自分が満足するだけでは、うまくいかない、⑧止める時、別れるときに辛く難しい、⑨心移りをすることがある

なるほど、ボランティアっていうと面倒そうだけど、こんなふうに考えると少し負担が軽くなります。義務とか社会貢献という言葉に縛られずに、恋のように心移りがあってもいいんだと、そんなことを考えていてハタと気がつきました。なんだそれならベイタウンニュースも同じじゃないかと。

考えてみると、ベイタウンニュースも全部ボランティアで支えられています。特に配布には毎回 40 人以上のサポーターの方が入れ替わり立ち替わりで参加しています。皆さんギチギチの義務感ではなく、いろんなスタイルでの参加です。チラシ挟み

「コアフェスタ 2019」終わる

11月2日、3日の2日間に亘って打瀬公民館で開かれていた「コア・フェスタ 2019」が終わりました。コア・フェスタは今年で 10 回め、打瀬公民館で活動するサークルが、日ごろの練習や努力の成果を発表する場として始まりましたが、ここ数年はベイタウンの秋の文化祭としての性格が備わり、サークル団体の発表の他に、打瀬中学校美術部からの出展や吹奏楽部の



いつもなら小中高生の自習室になるアトリウムも、コアフェスタの間はメイン会場のように賑わう。次のホールへの出入り待つ人、壁に展示された作品を見る人、今年はコーヒーコーナーでのコアホール維持基金への寄付額が例年の 3 倍あったそうだ。

込みも自宅で好きなときにして配布する、という人もいれば、コアに来てお子さんと共同で楽しく作業する人も。また、作業をしながらど名前も知らない人と何気なくしゃべることができます。半年ぐらいするとたまに街ですれ違って挨拶するぐらいの関係にはなります。たまに来るのを忘れる人もいますが、それも自由です。この「緩さ」が長続きする秘訣かなと思いました。

講演でも、長続きするコツの一つは、多様な志向を認め合い、やる気や努力の程度の違いの許容範囲が広いほうがいいと言われたとき、ストンとその意味が腑に落ちました。

早瀬昇さんは 1955 年生れの大阪人です。大学生の時から複数のボランティア活動に参加され、海外での研修後、市民の自由な活動を支える仕事をされてきました。1995 年の阪神・淡路大震災発生直後、一般市民に開かれた災害ボランティアセンターを日本で初めて開設したという方です。

今年の関東は大きな災害に 3 度も襲われましたが、ボランティアが復興の大きな推進力となりました。早瀬さんはまさにその開拓者でした。

人助けだと気を張らず、好きなことをして長生きもできる。こんな気分でボランティアしてみませんか。

ホールコンサート出演など多くの地域団体が参加して子どもからシニア層まで幅広い年代の住民が集まるイベントとして定着しています。

またこのイベントで発生する寄付など収益のすべては、主催する「打瀬公民館サークル連絡協議会」がベイタウン・コアの設備や建物を維持するための基金として使われています。



昨年からコア入り口のウッドデッキ部分で開催することになったフリーマーケット。歩道からもよく見え、掘り出し物も多いのでたくさんの方が集まる。無料で出品できることも人気の理由だ。唯一困るのは雨のとき。今年のフェスタでも 2 日目は雨になり、中止に。

ゴミ空気輸送システム問題 続報

9月に故障したままになっているゴミ空気搬送システム。経過を知らせるとしていた千葉市ですが、その後何の連絡もありません。収集車による週2回のゴミ収集が定着し、ゴミ空気搬送のシステム自体を廃止しようとしているのではないのか、そんな声が聞こえ始めた最近、自治会連合会の定例会に千葉市担当部局の職員が出席し、説明を行いました。ゴミ空気輸送システムはいつ直るのでしょうか。【松村】

11月10日（日）、自治会連合会の定例会に千葉市廃棄物施設維持課の職員が招かれ、現在停止したままになっているゴミ空気輸送システムの故障の原因と今後の見通しについて状況を説明しました。

この説明は9月に故障が発生し、その後の自治会連合会の定例会で状況を分かり次第報告するとして2ヶ月の間説明のない千葉市に対して、自治会連合会から説明を求めて行われたものです。

まず開口一番、千葉市からは「誤解のないように最初にお知らせしておきますが、千葉市はゴミ空気輸送システムを廃止するつもりはありません」と明言しました。

この表明があった後、システムの故障の原因と今後の見通しについての説明がありました。

千葉市によると、システムはゴミが流れる管（パイプ）の曲がっている部分で亀裂が生じ、そこから泥水が流入して止まってしまったとのことでした。

ただ故障箇所は地下5mという深い部分にあり、管の近くに電線のケーブルがあるとのことで、仮に修理しようとするとなを渡る打瀬白帆通り（消防署前のバス通り）を全面通行止めにし、しかも深い地下での工事になるため地下水対策なども行った上での長期的な工事になると考えられるので現在対策を検討しているとのことでした。

対策について、千葉市では2つの案を用意していました。1案は上記の故障した箇所を直す案です。しかしこの案では説明したように難しい工事になり、また長期に亘って主要道路の遮断をするなど市民生活

への影響も大きいことが予想されます。工事期間は約2年（2022年4月以降運用開始予定）です。

もう1案は故障箇所の修理を行わず、パイプのルート自体を途中から変更する案でいわばバイパスを作る方法です。こちらもそう簡単な工事ではありませんが、メリットとして工事の大部分がクリーンセンターの敷地内で行えること、従って市民生活への影響を小さくできることが考えられるとのことでした。ただこの案でも工事期間は前者と同じ期間が見込まれており、どちらの案にするかは現在行っている調査を細かく検討し決定するとのことでした。

説明を聞いた連合会の定例会ではゴミ空気輸送システムの撤廃をしないと表明したことを評価する一方、再開までに2年かかる点について「もっと早くできないか」という声が多く聞かれました。また今回の説明が遅かったことについて、「情報を頻繁に出さないことで撤廃するのではないかと誤解も生む。今後はもっと頻繁な情報伝達に努めて欲しい」との要望が出されていました。



打瀬中学校 野球部 目標は関東ブロック大会出場

昔は中学生男子の部活といえば野球部でした。今はそんな時代でもありませんが、それでも野球は人気スポーツです。打瀬中にももちろん野球部があります。それも千葉市ではここ最近毎年のように市大会で優勝する強豪の軟式野球部です。部活が強いと学校も街も元気になる。そんな持論を持つ僕には打瀬中の野球部が強いのかどうかは大問題です。期待を込めて打瀬中学校軟式野球部取材してきました。【松村】

意外な話ですが、打瀬中には創立当時野球部はありませんでした。打瀬中はもともと都市空間の中の中規模校として設置されていたので、校庭で野球ができるほど広くはなく、部活の野球部は想定していませんでした。ところが10年ほど経って生徒や保護者から野球部を作りたいという声が広がり、長い交渉の末にやっと設置されたのです。最初は現在の第1グラウンドにネットを張って練習をしていました。

この頃野球部の顧問をしていたのは、現在の校長、屋代先生でした。中学に行くと若くて熱血派の屋代先生が部員を相手に猛烈なノックをしていたのを覚えています。市内でも強豪校となった打瀬中野球部の伝統はこの頃培われたのですね。

さて、現在の打瀬中野球部の顧問は高橋先生、副顧問が福山先生で主に福山先生が日ごろの練習を指導しています。部員数は2年生16人、1年生10人の合計26人です。この野球部を引っ張るのは今年の夏の大会のあと部長に指名された小林仁君（2年生）。さっそくインタビューしました。

まず新キャプテンとして打瀬中野球部の目標を語ってもらいました。今年の目標は「関東大会出場」です。昨年のチームは千葉市大会で優勝し県大会に出場したものの、初戦で敗退し関東大会には進めません

でした。今年はその実績を上回る関東大会出場を合い言葉に夏以降チームづくりをしてきたそうです。

そして迎えた今月16日の新人戦。結果はなんと初戦敗退。インタビューしたのはその直後でちょっと悪いタイミングで来たかなと思ったのですが、チームのムードは意外に元気でした。小林君によると昨年のチームも新人戦では初戦敗退のスタートだったとのこと、むしろこの「秋に初戦敗退、夏に市大会優勝」は野球部のジンクスなのだと前向きに捉えているのだそうです。こんなに切り替えるの早いところが打瀬中野球部の強みのようです。

小林君に「なんで野球をやっているの」と聞いたとき、彼はぽつりと「仲間」という言葉を使いました。小学校時代のベイバスターズや今の部活の明るい仲間にも恵まれ、そんな仲間がいるから野球をつづけられる、そんな意識が彼の

中にあるようです。

実際このチームは少し「ひょうきん」と見えるほど明るいチームです。よく声を出し、部長と単独のインタビューなのにだんだんチームメイトが何人も彼の周りに集まって来て、小林君が分からないことや返事に困ったときはすぐに後ろから声をかけてきます。野球はチームプレーとよく言われるスポーツです。この明るさが強いチームワークを育て、夏には目標を射止めて欲しいです。がんばれ打瀬中。



野球部の2年生。前列左から4人目が部長の小林君。

幕張ベイタウン&ベイパークマラソン大会（投稿記事）

【打瀬地区スポーツ振興会会長 内田隆】

11月17日（日）に今春オープンした幕張ベイパーク内の若葉3丁目公園を主会場にして、今年で6回目のマラソン大会が開催されました。

最初の種目（一般・シニア・中学生、5km）が始まる午前10:00の気象状況が、晴・気温17.8度、北北西3.1mとランニングするにはまずまずの中、小学生200名・大人150名が参加されました。

この大会では親子で走る「親子の部」に人気があり、毎年多数の方が参加されています。

大会運営面では、地域団体（自治会連合会、青少年育成委員会、民生児童協議会、スポーツ振興協会、商店会）と打瀬四小中学校・幕張総合高校陸上部・打瀬中学校陸上部・ベイタウン女子部の皆さんが、会場設営・選手受付・表彰・計測・コース誘導整理を分担して運営に当たっております。

また、幕張総合高校ダンス部70名の皆さんがダンスで選手を応援してくださいました。

長年この大会に協賛して頂いている近隣企業のグリーンタワー幕張・サッポロビール・山崎製パン・三井レジデンシャル・UR都市機構・スズキ自販千葉・千葉ロッテマリーンズ・ベイタウン商店会等からの品々は、選手のゼッケン・参加賞品・表彰者の賞品等に使用させて頂いております。

これからも、このマラソン大会が地域の方々の健康増進やコミュニティづくりに資することを念じて継続開催して行きたいと考えております。

（この記事はスポーツ振興会からの投稿です）

ジュニアコーラス フェアリーズ 定期演奏会

11月10日（日）にジュニアコーラス「フェアリーズ」の定期演奏会を聞いてきました。午後2:00開演でコア・ホールで開かれましたが、いつものように立ち見がでるほどの人気でした。

私はこれまでフェアリーズを地元の子どもたちの楽しい歌のクラブくらいに考えていて、今回もそういうアットホームな雰囲気の演奏会だと思っていたのですが、今回は違っていました。

一口でいえば全国レベルの少年少女合唱団のコンサートです。音程やハーモニーなど音楽的なすばらしさもありますが、子どもたちの表情やステージマナーも非常にすばらしく、照明や音響、スタッフの対応に至るまで「地元だからこのくらい許してもらえるよね」という甘さを全く感じさせない本物の「コンサート」でした。

フェアリーズは結成以来数多くの全国レベルの賞を受賞していますが、ここ数年はその回数が多く、コアやベイタウン内の会場で週末に行われる練習のときから演奏会を意識した緊張感のある練習をしているのでこんなステージができたのだと思います。こんな合唱が街で聞けるというのもすばらしいことです。



公民館前に郵便ポスト

コアをよく利用する人はもうお気づきですね。入り口ドアの左手、図書館の返却ポストの前に郵便ポストが新しく設置されました。ポストは11月24日（日）には設置の工事が終わり、翌25日（月）から供用が開始されています。

ポストは普段街の中で見かけるものより少し大型で、大きめの郵便物でも端を折らずに投函できる広い間口のものです。集荷の時間は10:35と14:36の1日2回です。

このポストは、ベイタウンで6つ目のものになります。ベイタウンに転居したとき、いくつかのポストが道ばたに設置され、人が集まる場所ではないので、不思議に思っていました。ヨーロッパなどではランドマークの近くによくポストがあり、絵はがきが売られていたりして、それがよく街の風景を演出したりしています。ヨーロッパの街並みがモデルのベイタウンでもコア前のポストは雰囲気合うでしょう。それにやはり、人の集まるコアの前にあると使いやすいですね。

ところで、なぜベイタウンができて20年以上経って新設されたのでしょうか。少し不思議ですね。これにはちょっとしたお話があります。次号では設置に至ったプロセスなども取材して、来月ご報告する予定です。

日頃電子メールで用は足りませんが、郵便もその手作り感で、人と人をつなげることができるもの。皆さんも手書きの手紙を誰かに送りませんか。年賀状の季節です。



こどもさいくるリサイクル 今年は何台？

毎年コアフェスタで開催され、子ども用自転車を街の中でリサイクルさせる「こどもさいくるリサイクル」が今年も終わりました。今年は22台の子ども用自転車が新しい持ち主のもとに渡っていきました。中には新品同様でほとんど乗られていないような自転車もあり、「これが1,000円で手に入るの」という驚きの声のなか、抽選が終わって引き取られていきました。

自転車を提供して頂いた方、引き取って頂いた方、ご協力頂いた方、ありがとうございました。「こどもさいくるリサイクル」は来年のコアフェスタでも開催される予定です。楽しみにお待ちください。【こどもさいくるリサイクル運営スタッフ】



つどいまなびつなぐ

ベイタウン・コア / 公民館通信

電話 296-5100

【12月の主催講座の紹介】申込受付中！

その1：「大正琴をたのしみませんか」

日時：12月17日（火）13：00～15：00

場所：打瀬公民館 講習室

講師：大正琴琴江会の皆さん

対象：成人（定員：先着10名）

費用：無料

冬のアトリウムコンサート

ギターと弦楽四重奏でクリスマス前の憩いのひとときを過ごしてみませんか。予約不要です。

開催日：12月21日（土）14：00～16：00

会場：打瀬公民館アトリウム特設ステージ

出演者：14：00～千葉 ソロギターサークル

15：00～幕張 ベイタウン室内合奏団

ベイタウンニュース恒例「年男年女撮影会」

ベイタウンニュース年末の恒例行事、「新年 年男年女撮影会」を行います。2020年の干支は「子年」（ねずみ）です。12年に1度のベイタウンニュース新年号を飾るチャンスです。たくさんの方の参加をお待ちしています。

日時：2019年12月14日（土）午前10：00～

場所：ベイタウン・コア アトリウムに集合

当日雨の場合はコアのアトリウム内で撮影します。

問い合わせ：ベイタウンニュース 松村（TEL：211-6853）

キュービックカフェ 12月・1月のイベント・ワークショップ



毎月9日はキュービックの日！

『キュービックマルシェ』開催

<12月> 12/14（土）11時～

クリスマスマルシェ開催！

<1月> 2020年1月9日（木）11時～（開催予定）



イベント詳細・お問い合わせ：キュービックカフェ
<https://www.cubic-cafe.com/>

12月のベイタウンかふえ

日時：12月11日（水）午後1：30～4：00

場所：地域連携センター（ベイタウン・コア横）

「人にやさしい認知症ケア ユマニチュード」というテーマであんしんケアセンター磯辺の清水直美さんにお話をいただきます。その後、女性コーラスグループのコーロフェリーチェさんのミニコンサートがあります。

後半は、茶話会です。ゲーム、ハンドマッサージ、回想新聞もあります。認知症の不安に応える専門家が常駐しています。遠慮なくご相談下さい。

問い合わせ：うたせ認知症を考える会
中澤（TEL：211-0588）

【1月の主催講座紹介】1月4日（土）9：00～受付

その1：「冬のスキンケア方法と若返りメイク教室」

日時：1月22日（水）10：00～12：00

場所：打瀬公民館 講習室

講師：ヤクルト化粧品事業部のみなさん

対象：成人女性（定員：先着20名）

費用：300円

その2：「シニア向け スマートフォン 教室」

日時：1月29日（水）14：00～16：00

場所：打瀬公民館 講習室

講師：KDDI（株）認定講師

対象：60歳以上でスマートフォンを持っていない方（定員：先着20名）

費用：無料

◇〈問い合わせ〉打瀬公民館電話 296-5100

受付・問い合わせ時間：9：00～17：00

第35回ベイタウン ウィンターコンサート

12月15日（日）10:00 開演

ベイタウンコアホールに、美しい歌声、ピアノ、吹奏楽、ミュージックベルなど素敵な演奏と笑顔が溢れる一日です。

どうぞ一緒に楽しみましょう！

～ Carina Voce 2nd Concert ～

12月22日（日）開場：12時半 開演：13時

場所：ベイタウンコアホール 全席無料

プログラム：O Salutaris Hostia（エシェンバルス作曲）

ミュージカル Wicked より The Wizard and I / 映画アラジンより Speechless / Last Christmas、他

Carina Voce（カリーナ・ヴォーチェ）

2017年結成。10代、20代からなる女性アンサンブルとして、幕張ベイタウンを拠点に活動を開始。クラシック、ミュージカル、ポピュラーと幅広いジャンルの曲を歌っています。バレエ留学経験のあるメンバーも在籍しており、単なるコーラスを超えた新しい音楽の表現を試みています。見て、聴いて、楽しんで頂けるステージをご用意しております。是非お越しくださいませ。

12月のコア・イベント

わくわくおはなし会 12月の常設おはなし会

日時：12月21日 第3土曜日 午前10：30～

場所：ベイタウン・コア講習室

今月は「おはなしパーティー！」わくわくするお話を用意してお待ちしています。

年齢制限はありません。絵本の好きな大人も子どももぜひきてね！

予約は不要です。読み手も募集中、見学大歓迎

ブログ更新中・見てね** <http://blog.livedoor.jp/chibawaku/>

12月28日（土）寺子屋工作ランド

よく鳴る「でんでんだいこ」

日時：12月28日 第4土曜日 午前9：30～11：30

場所：ベイタウン・コア工芸室

今月はよく鳴る「でんでんだいこ」をつくります。

持ってくるもの：よく切れるはさみ、セロテープ、ビニールテープ（ある人）

参加費：50円（保険料）